

共生力

HP: <http://www3.ocn.ne.jp/~koryu/>

Tel: 03-3222-4190 Fax: 03-3222-4199

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-3-9 第2太陽ビル 301

発行人: 黒田文男



易県西陵小学校で音楽授業をする訪中教員 2010.10

設立 20 周年記念シンポジウムテーマ

『教育を中心にした国際協力』

テーマ設定の理由

東北大震災は私たちにとって、共に生きる力の大切さを教えてくれました。さらに、思いやりや相互の深い理解なしにはこの社会が成り立たないことも教えてくれました。これからの世紀にあっては、国と国との関係を超えた人と人とのつながりがますます強くなっていくことでしょう。復興のボランティアに参加している中国はじめ諸外国の留学生がいます。彼らの姿は、これからの社会のあり方に光を投げかけてくれるように思えます。

私たちが 20 年間に亘って培ってきた教育交流も、新たな時代を造るために、互いを生かしあい、互いにとって幸せな社会を創り出していくために、ますます大きな役割が求められているといえましょう。

東アジアで教育交流を進めるといことは、歴史を学ぶことでもあります。広い意味で共に生きる『友』を作り出すことに他なりません。とりわけ中国、韓国との教育交流は、この地域の安定に寄与するばかりでなく、お互いを思いやる共通の特質を尊重し、全世界に改めて、ヒューマニティを発信する場でもあります。

その意味で、『教育を中心にした国際協力』シンポジウムは、協会設立 20 周年を期に、教育交流の意義をあらためて考え、私たちに出来ることは何かを問い直す大きな契機になるのではないのでしょうか。

多くの方のご参加をお待ちします。

日 時	2011 年 10 月 18 日 (火) 午後 2 時
会 場	ホテル メトロポリタン エドモンド 東京都千代田区飯田橋 3-8-10
記念事業	2 時 開会行事 (訪日団代表挨拶など) 3 時 記念シンポジウム 6 時 祝賀レセプション

※10月19-20日 音楽授業研究・参観 (於: 神奈川平塚)

協会設立 20 周年を祝って

10 月 18 日 記念シンポジウム・

祝賀レセプションを開催

音楽教師 5 名を含む

宋慶齡基金会教育代表団も来日

昨年公益法人として認定された「公益財団法人日本中国国際教育交流協会」は、今年設立 20 周年を迎えます。

これを記念して 10 月 18 日、東京において「設立 20 周年」記念行事を行います。午後 2 時より記念シンポジウム、6 時から祝賀レセプションを行います。

記念シンポジウムでは、「教育を中心とした国際協力」をテーマに、日本、韓国、中国の視点から東アジアの教育交流について意見を交換します。パネラーには、韓国から権重東氏 (韓国 ILO 会長・安東自由大学名誉総長)、中国からは、周牧之氏 (東京経済大学教授・マサチューセッツ工科大学客員教授) が参加します。また、日本からは、荒木重雄氏 (社会環境学会会長・桜美林大学名誉教授) に参加いただき、コーディネーターは、国際経験の深い初岡昌一郎氏 (姫路獨協大学名誉教授・協会理事) をお願いすることといたしました。

シンポジウムに先立って、中国教育国際交流協会、中国宋慶齡基金会から挨拶をいただく予定です。

今回来日する中国宋慶齡基金会教育代表団 (10 名) には、協会と交流のある中国河北省易県音楽教師 5 名が含まれており、翌 10 月 19 日に開催される「音楽授業の研究と交流」に正式参加します。日本側からは、平塚音楽教育研究会のメンバーが、授業の研究を行います。

20 日には平塚市花水小学校の授業参観を行います。また、易県の教師と花水小学校の教職員が懇談会を行う予定です。

記念シンポジウム講師紹介

コーディネーター

初岡昌一郎氏（姫路獨協大学名誉教授・協会理事）

岡山県生まれ。PTTI(国際郵便電信電話労連)東京事務所長として、長らく労働運動に携わりつつ、アジアの社会的側面の研究を進めてきた。東アジアの市民の交流に大きな影響を与えている。15年来ソーシャルアジアフォーラムを主宰し、日本・中国・韓国・台湾の4地域の市民研究者による国際シンポジウムを毎年組織してきた。また、教育総研において、児童労働研究委員会の主査を務めた。その成果は、この分野の先駆的な取り組みとして評価されている。

協会草創期から理事として貢献し、近年では宋慶齡基金会胡啓立主席との永年の友誼を基に、協会と宋慶齡基金会の橋渡しの役割を果たした。安東自由大学の産みの親でもある。

パネラー

権 重東氏（元韓国労働長官・安東自由大学名誉総長）

韓国労働運動の草分けの一人で、投獄など幾多の迫害にも屈せず、労働界代表として、初めての労働長官（大臣）に就任した。幼少期を日本の朝鮮侵略のもとで過ごし、その体験を忘れることはない。現在、韓国ILO協会会長として、党派を超えて尊敬を集めている韓国労働界の重鎮。故郷の安東市は儒教の中心地として世界的に有名である。本人もかつて両班（ヤンバン）であった安東権氏の出である。2007年、安東に有志とともに安東自由大学を設立し、東アジアでの市民のネットワーク作りを目指している。

周 牧之氏（東京経済大学教授・マサチューセッツ工科大学客員教授）

中国湖南省生まれ。1985年湖南大学システム工学専攻卒業。中国機械工業部（省）勤務後、日本留学。「東アジアがつながっていくには今後何をしていけばいいのだろう。そのためには、東アジアの人たちは30年後のアジアを大胆に想像するべきではないか」と主張する中国社会経済界の論客。これからの日中関係は、相手を認めあい、理解する双方向の努力が必要である。東アジアは可能性を秘めた未来の大きなプラットフォームになると熱く語る。東京ー北京フォーラムなど、活動分野の広さでも注目を浴びている。レッドクリフの主人公、三国志での呉の英雄、周瑜の直系の子孫。

荒木重雄氏（社会環境学会会長・桜美林大学名誉教授）

NHK国際局ディレクターとして、長年アジアを見つめ続け、インド国立プネー大学客員教授としてインドでの滞在経験もある。「すべての人が等しく公正に、人間としての尊厳と真の豊かさを享受できる社会のあり方を、真剣に模索し、社会に提言する。その作業を広い視野で、すなわち多様な背景や考えを持つ人々の多角的な意見の交換による相互啓発の中で行う。これが、私の研究、教育、その他の社会的活動全般に亘る基本原則である。」こ

う語る荒木氏は、協会の活動が、公正で平和な東アジア市民社会の創造に向けた大きな力に転化すると信じている、と期待をかけている。「アジアへの視点」「東アジアの人間関係学」などの著作・論文も多い。高野山真言宗僧侶でもある。

20周年記念事業実行委員会を結成

協会設立20周年記念事業を進めるため、以下の各氏が実行委員会を構成し、準備並びに当日の任務に携わります。()内は出身県名 敬称略

実行委員長 加藤良輔（理事・神奈川） 実行副委員長 坂野修一（評議員・山梨）、山中正和（業務執行理事）、事務局長 赤池浩章（静岡）、事務局次長 吉田一徳（業務執行理事） 事務局員 野川孝三（神奈川）、大杉周三（愛知）、石山知義（静岡）、杉山繁（茨城） 常任実行委員 政金正裕（神奈川）、久保田英樹（山梨）、佐々木伸司（千葉） 実行委員 川口正昭（群馬）、中山幸男（茨城）、土井彰（東京）、高畑泰志（愛知）、大西義人（三重）、澤田佳男（富山）、渡辺大輔（福井）、岡田浩幸（高知）

東日本大震災支援

東北地方に学ぶ海外留学生の

学業・ボランティア援助等に

この度の東日本大震災で被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

被災地には、多くの教育施設も含まれ、そこには、海外からの留学生をはじめ、外国人学生が学んでおり、種々の理由から学業の断念に追い込まれた学生もいます。また、日本語を学んでいる多くの中国人留学生は、再来日し、学習に励んでいます。中には、ボランティアとして東北地方に出かける学生もいます。

協会は本年度の事業のうち、河北省易県への教育支援のうち、机・椅子などの備品に関する費用約150万円を、東日本大震災で被災した海外留学生などの支援に振り向けることとしました。各法人のこうした特色を生かした支援については、海外からのお見舞いや友情に応える意味でも、日本の復興が海外との友好の上に成り立つことを考え、意義あるものと考えます。

取り組みに当たっては、中国大使館教育処をはじめ、語学学院などと連絡を取りながら進めてまいります。

安東自由大学参加者の募集締切

第5期安東自由大学が2011年8月29日より3日間、韓国安東市で開催されます。当協会では参加者を募集していましたが、7月4日現在、定員（若干名）に達しましたので募集を締め切らせていただきます。安東自由大学は、過去4年間に、東アジアの歴史、教育、また儒教の聖地安東にふさわしい学習と交流を行ってきました。